

使用上の留意点

1. エピソードについて

全てのプログラムにおいて、改変は自由です。登場人物の学年を変えるなど、アレンジを加えれば、思春期のプログラムを学童期で使うこともできます。エピソードは、参加者にとって身近な内容にアレンジして活用してください。

2. 「ちょこっと豆情報!」について

プログラムテーマに関連する情報を紹介しています。サイトアドレスを記載していますので、様々な情報について事前に確認しておく、より効果的にプログラムを展開することができます。サイトの情報は全て令和6年1月19日時点のものです。ご了承ください。

3. プログラムの展開例について

■15分でもプログラムを活用することができます。以下のアレンジを参考にしてください。

- ① ワークシートに自分の思いや考えを書く。(5分)
- ② 書いたことについてグループで交流する。(10分)

※研修会の一部やブレイクタイム等、様々な機会に話し合いの場を設け、「トクわく」を使ってみませんか？

■進行役（ファシリテーター）の経験が豊富な場合は、60分での展開がおすすです。アイスブレイクの工夫や付せんを使ったグループワーク等、多様な手法を取り入れながら、「トクわく」を活用してみてもいいでしょうか？

4. プログラムの更新について

今後は、県ホームページにて、新プログラムを随時追加していく予定です。ぜひ、ご覧ください。

「愛顔^{えがお}の子育てトーク&わーく応援プログラム集」 「トクわく」

<https://www.pref.ehime.jp/page/1258.html>

